

令和5年9月8日

愛南町議会

議長 佐々木 史仁 殿

総務文教常任委員会

委員長 石川 秀夫

### 所管事務調査報告書

総務文教常任委員会の所管事務の調査を実施したので、愛南町議会会議規則第76条の規定により、その結果を下記のとおり報告いたします。

#### 記

- 1 日時 令和5年7月18日(火) 午前10時00分から
- 2 開催場所 議員協議会室
- 3 出席委員(7名)  
石川 秀夫、池田 栄次、金繁 典子、佐々木史仁、中野 光博、那須 芳人  
吉村 直城
- 4 調査事項  
空き家の利活用の調査研究
- 5 説明員の職及び氏名  
企画財政課 課長 清水 雅人、同課長補佐 桑原 真也
- 6 調査内容

はじめに、愛南町における空き家の状況について、令和5年2月に建設課が行った「愛南町空き家等実態調査業務報告書(抜粋)」の内容を確認した。報告によると、外観目視による現地調査の結果、総合判定A(保安上危険となる恐れのある状態とは判断されないが、経過検査を要するもの)が、378件、総合判定B(即座に特定空き家相当「そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となる恐れがある状態」等と判断することは困難であるが、その対策を検討すべきと考えられるもの)が、303件、総合判定C(特定空き家相当)が、528件であり、所在は特に中心市街地と漁村集落に多く集中している状況であった。

次に、移住定住促進による地域活性化を図るために実施している「空き家情報バンク登録制度」について、清水企画財政課長から説明を受けた。

空き家バンクの登録実績（R5. 7. 12 現在）として、平成 28 年度の制度開始から登録件数 38 件、成約件数 12 件、利用者登録数 60 件であり、制度を周知する方法として町ホームページでの掲載の外、行政協力員総会で協力依頼を行い、令和 5 年度からは移住支援コーディネーターに 2 名を委嘱して、移住希望者からの相談業務以外に空き家等の情報収集を実施していること。また、移住者を支援するため、移住者住宅改修支援事業補助金制度を設け、3 件、10, 379, 000 円（R5. 7. 12 現在）の実績があるとの説明があった。

#### まとめ

委員からは、「愛南町空き家等実態調査業務報告書（抜粋）」により、居住可能と思われる総合判定 A の物件が 378 件あるので、空き家バンクの登録件数を増加させるため、所有者へ登録の働きかけを強めるべきとの意見や、町内の希望者にも空き家情報を提供することにより、人口流出の歯止めを図ってはどうかとの意見があった。また、空き家の利活用を移住定住対策及び人口減少対策から考えた場合、魅力ある水産業・農業を通じた愛南町の PR、移住者を地元で支える体制づくり、空き家情報の共有等が必要であり、部局横断的な体制整備が必要ではないかとの意見で一致した。

以上、総務文教常任委員会の意見を集約した調査結果報告とする。